

『Mind Charging』

第 218 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 2 月 20 日

スティーヴン・ホーキングの名言



障害のせいでできないことに目を向けるのではなく、
障害があっても上手くできることに集中してください。

身体は障害を負っていても、
気持ちまで障害者にならないでください。

ホーキング博士は『車椅子の物理学者』としても知られています。1960年代、学生の頃に筋萎縮性側索硬化症(ALS)を発症したとされており、今回の言葉は他の障害を持った人に対して発した言葉だそうです。ちょっとした頭痛などでも人は不安になるものです。発症から5年程度で死に至る病であると考えられていたALSを患っていたホーキング博士がこのような言葉をかけるということだけでも彼自身の『強さ』が感じられます。

私たちは今、ついこの前まで当たり前だったことがそうでなくなってしまった状況下で毎日過ごしています。様々な制限や自粛を余儀なくされたことによるストレスの中で、どうしても気持ちを前向きに保つことが難しいと感じることが私にもよくあります。これではホーキング博士に叱られてしまいますね。今後もまだまだ現在の状況が続くことが予想されます。難しいことですが、なんとか『適応』することが求められます。その第一歩として私たちができることは『気持ちまでは制限も自粛しない』ということではないでしょうか。今しかできないことを探しながらポジティブに過ごしていきましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

スティーヴン・ウィリアム・ホーキング(英: Stephen William Hawking、1942年1月8日 - 2018年3月14日)は、イギリスの理論物理学者である。大英帝国勲章(CBE)受勲、FRS(王立協会フェロー)、FRA(ロイヤル・ソサエティ・オブ・アーツフェロー)。スティーブン・ホーキングとも。一般相対性理論と関わる分野で理論的研究を前進させ、1963年にブラックホールの特異点定理を発表し、世界的に有名になった。1971年には「宇宙創成直後に小さなブラックホールが多数発生する」とする理論を提唱、1974年には「ブラックホールは素粒子を放出することによってその勢力を弱め、やがて爆発により消滅する」とする理論(ホーキング放射)を発表、量子宇宙論という分野を形作ることになった。(Wikipedia 参照)